



さ かい しげこ
酒 井 滋 子 氏

生年月日 昭和5年9月24日生

住 所 田辺市本町

昭和5年(1930年)9月24日、西牟婁郡瀬戸鉛山村(現白浜町)に生まれる。

平成3年(1991年)に定年退職するまで、県内高等学校で教鞭を執る。

定年退職後、西牟婁教育相談センターの相談員となり、不登校の子ども達やその家族の相談活動に携わる。当初は小中学生の子どもが対象であったが、高校にも進学せずそのまま引きこもってしまう若者達を放っておくことができず、学齢期を超えた青年達の支援を始める。

平成10年(1998年)、田辺市民総合センターに活動拠点を移し、青年サークル「ハッピー」を結成し、週に数回居場所を開設するようになる。その中で出てきた課題を元に市当局にも働きかけ、平成13年(2001年)に行政と民間が連携してひきこもり問題を協議する検討委員会が設置され、市は相談窓口を開設した。この取組は全国的に注目され、田辺市が全国に先駆けて行政としてひきこもり支援に取り組むきっかけを作った。

平成14年(2002年)、「ハッピー」は一軒家を借りて「ハートツリーハウス」に発展。その後、活動の充実と運営の安定を図るため、平成18年(2006年)にNPO法人の認証を受け、「特定非営利活動法人ハートツリー」の理事長に就任。設立以来、和歌山県や田辺市から指定を受け、「ひきこもり者社会参加支援センター」を運営するとともに、平成20年(2008年)からは厚生労働省の委託を受け、無就業の若者の職業的自立支援に取り組む「南紀若者サポートステーション」を開設し、ニートやひきこもり、学校から離れ、または就業していない者やその保護者を対象とした支援プログラムや個別相談を実施するなど、各人の状態や環境に合わせたプログラムで社会参加や社会復帰のきっかけを作っている。

また、ハートツリーは平成26年(2014年)に銀座通りの商店街に「カフェ・ルルコロ」をオープン、通所者の就労準備を支援するため、店内で販売する焼き菓子の製作などをパティシエの指導の下で行っている。さらに、平成28年(2016年)には、貧困家庭の子ども達の学習を無償で支援する「ひなた塾」を開講。生活困窮者自立支援

第 48 回 (平成 29 年)

法に基づき、ハートツリーが業務を受託。親から子への貧困の連鎖を防ぐことを目的に、経済的に恵まれない子どもたちの進路選択の幅を広げる活動を行っている。

このように、氏は一貫して不登校・ひきこもりの子どもや青年達に寄り添い、ひきこもり支援活動の先駆的な役割を果たした功績は大きく、またその思いは確実に次の世代へと引き継がれている。

(学 歴)

昭和 22 年 (1947 年)	和歌山県立田辺高等女学校卒業
昭和 25 年 (1950 年)	同志社女子専門学校生活科卒業
昭和 27 年 (1952 年)	同志社大学文学部社会学科卒業

(職 歴)

昭和 43 年 (1968 年)	和歌山県立高等学校非常勤講師
昭和 45 年 (1970 年)	和歌山県立田辺高等学校教諭
昭和 58 年 (1983 年)	和歌山県立南紀養護学校 (現南紀支援学校) 教諭
平成 3 年 (1991 年)	定年退職

(役職等)

平成 18 年 (2006 年)	特定非営利活動法人ハートツリー理事長
------------------	--------------------

(受賞歴)

平成 24 年 (2012 年)	和歌山県知事表彰 (保健衛生功労)
平成 27 年 (2015 年)	社会福祉事業功労者表彰 (田辺市社会福祉協議会)